

# 広報 ふじかわ

1 月 号

昭和51年 1 月 1 日 発行

No. 179

## 町 の メ モ

昭和50年12月1日現在	
人 口	16,512人
増 減	先月より - 12人
男	8,172人
女	8,340人
世帯数	3,948世帯
面 積	31.09km <sup>2</sup>

富士川町 企画課



## もうすぐ完成 ぼくらの2中

第二中学校校舎改築工事は、ただいま内装工事の段階にあり、三月十日完成を目差して順調に進められています。

総工費一億九千九百八十万円で改築される同校舎は鉄筋コンクリート造りの四階建て、延面積二千三百五十二平方メートルです。

新校舎には、普通教室六理科室、音楽室など特別教室六、そのほか校長室、職員室、事務室、医務室、職員更衣室、管理入室などが配備されています。

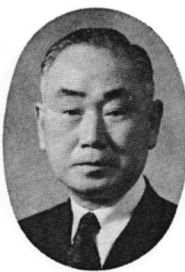
工事は、順調に進められすでに内装工事にはいっており、この後、外装工事やその他雑工事を終了して、三月十日に完成する計画です。

予定どおり工事が進められると、今春卒業する三年生は、十日間くらい新校舎で勉強できることになり、卒業生にとっては、思い出深い学舎として記憶に残ることでしょう。

# 創意と英知で

## 町の健全財政を堅持

### 年頭にあたり中川町長語る



中川 国兵町長

あけましてお目出とうございます。昭和五十一年の新春を迎え、初陽に映える富士の秀峰を仰ぎつつ、国家の隆昌と富士川町の発展を祝い、あわせて町民各位の繁栄とご健勝を祈念いたします。

顧みますと昨年は、石油ショック以来、日本経済はかつてないきびしい不況の中にあつて、地方を通じ財政の危機に直面した一年であつたと思ひます。

当町にとりましては、一昨年から引続き町民憲章の実行目標として「ものを大切にしよう」を掲げ昨年は、一般会計当初予算十一億三千六百四十三万円をもって、社会福祉と公益優先を重点とした町政を進めてまいりました。

老人医療、ねたきり老人に対する家庭奉仕員の充実、幼児対策をはじめ第二中学校危険校舎の改築

都市下水道、農免農道、泉水林道の開設、ごみ焼却場の改造工事、富士川由比線など幹線道路の整備等。広域事業としては、三町し尿処理場の増設、共立蒲原病院の施設充実等、政局激動、地方財政逼迫の中にあつて物価高の苦境に耐え、ひたすら「明るい豊かな町づくり」に努力してまいりました。

この結果、昨年末の現計予算は国保、水道をあわせて十五億三千二百万円の巨額となつたのでありますが、総需要抑制という国策の中で、これだけの事業を推進することが出来たのは、町議会をはじめ町民各位のご理解あるご協力によるものと、深く感謝いたす次第であります。

景気の沈滞は、今後も続くものと思われまますので、昭和五十一年度の町財政はさらにきびしさを加えるものと存じます。

富士川町の今後の施策としては福祉面の充実を図る一方、事業面においては一小、二小の児童急増対策、中央公民館建設用地の取得松野地区簡易水道の町営上水道一



養 武司議員

昭和五十一年の年頭にあたり、町議会を代表いたしまして、つつしんで新年のごあいさつを申し上げます。

最近の経済情勢をみますと、政

## 地方自治体は内政のかなめ 今年も公正な審議で町政を

本化、県道富士川富沢線バイパスの促進、山砂利対策等、広域事業としては三町衛生プラント増設工事の完成、精薄尾通園施設建設計画、高校誘致問題等、幾多の重要課題をかかえ、町の健全財政を堅持するためには、極めて重大な年を迎えたと申さねばなりません。

このような諸情勢の中にあつて本年三月には待望の都市下水道、町立第二中学校新校舎、そして富

集された臨時国会において、「日本経済は今が一番苦しい時期であるが、国民の勤勉とえい智と活力に支えられて、インフレと不況の困難な事態もあと一、二年で切り抜かれると信ずる」と、その所信を表明しております。

内外ともにきびしい社会情勢は短期間には好転するとは考えられず、地方自治体財政へも大きな影響を与え、このまま進みますと今後、益々増大かつ多様化、高度化する行政需要に対処していくことはむずかしくなると思ひます。

ここにおいて、この不況を克服するためには、すみやかに、しかも適切かつ強力な国の施策による景気浮揚策等の実施を強く要望するものであります。

以上、申し上げたとおり町財政も苦しい事情にありますが、今後実施していかねばならない諸施策も山積してあり、とくに、町民福祉の向上を軸とする諸施策は積極的に推進しなければならぬと存じます。

地方自治体は、内政のかなめとなつて、豊かな地域社会の建設にとりくんでいかねばなりません。議決機関たる我々町議会といたしましても、本年も始終公正に町政の諸問題を慎重に審議し、町民各位の期待にそつよう努力する決意であります。

## 交通事故証明書の交付は

### 自動車安全運転センターで

交通事故証明書の発行手続きなど、従来、警察署で取扱つていた事務のうち一部を、今年一月一日から発足した自動車運転センターで行なうことになっております。

同センターは、昨年の十一月に東京を本部として、各道府県別の警察本部の所在地に地方事務所を

設立し、今年の一月一日から業務を開始しました。静岡県では県庁東館十三階に静岡事務所を設置しております。おもな業務は次のとおりです。

◇**事故証明の発行**  
交通事故証明書は、今まで各警

署で発行していましたが、一月一日から自動車運転センター静岡事務所が発行します。したがって警察署では取扱いません。

同センターに対する交通事故証明書の申請は、郵便振替と、直接同センター事務所へ出掛けて手続きする方法があります。

郵便振替による方法としては、郵便振替による方法としては、も寄りの警察署か派出所、または駐在所においてある申請書に所定の事項を書いて、手数料（一通につき四百円）を添えて静岡市追手町九番六号、静岡県警察本部内、

同センターは、昨年の十一月に東京を本部として、各道府県別の警察本部の所在地に地方事務所を

# 富士川河川敷に 運動場を造成します

## 12月定例議会終る

町議会十二月定例会は、昨年の十二月十八日、役場議場で開催されました。

当日は、中川町長の一般行政報告、一般質問七件の答弁を皮切りに、請願陳情二件をそれぞれの常任委員会に付託したのち、町長提出議案十六件を慎重に審議し、原案どおり可決しました。

可決した町長提出議案のうち、おもなものは次のとおりです。

◆四十九年度一般会計決算額は、歳入十二億六千八百八十九万八千九百八十円、歳出十二億六千五百九十九万四千二百六円となりました。

◆四十九年度国民健康保険特別会計決算額は、歳入一億二千九百八十三万九千七百二十九円、歳出一

億二千三百三十万二千五百六十五円となりました。

◆今年度の一般会計に第二回目の補正予算として、歳入歳出それぞれ二千八百五十五万円を計上。これに同会計は、歳入歳出とも十二億五千七百九十五万円になりました。

今度の補正予算のおもな歳出は都市計画街路形富士川線の踏切工事の追加分。富士川河川敷につくられる運動場造成工事。中央公民館建設基金の積立金などです。

◆人事院勧告に伴つて町職員給与が改正されました。

◆町は、本通三丁目を設置されていた旧郵便局（土地三百二十八平方、建物百八十三平方）を千二百二十三万九千円で郵政省から買い取りました。

年末年始の交通事故死をなくす県民運動初日の、昨年十二月十一日、県道富士川富沢線馬坂で交通事故の多い同道の安全を祈つて、「交通安全祈願塔」を建設、その除幕式を行ないました。

祈願塔は、高さ三、幅三十センチの安山岩に「祈交通安全」と刻み込まれたもので、地元の人たちや交通安全協会（長谷川修治会長）員らの協力によつて建てられました。

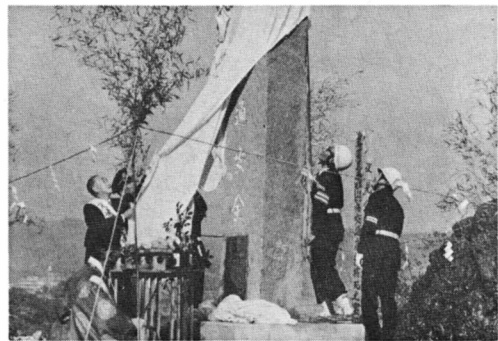
除幕式には、交通安全協会員や中川町長、池田蒲原警察署長ら三十人が出席。神事のあと除幕を行ない、事故防止を祈願しました。

なお、町内で発生した昨

この申込み方法は交通事故証明書の場合と同様です。

◇**安全運転研修業務**  
緊急自動車の運転者などに対する高度の運転研修。青少年に対する二輪車実施訓練などを行なう。

◇**調査研究業務**  
交通事故を防止するための高度な事故分析、その他の道路交通に関する調査研究を行なう。



富士川富沢線に建てられた交通安全祈願塔

# 叙勲おめでとう

野田力三氏 勲四等  
小沢素良氏 勲五等 瑞宝章  
渡辺忠作氏 勲六等

各分野にわたって、長年献身的な努力を続けた人たちに贈られる秋の生存者叙勲は、昨年十一月三日の文化の日に発表され、当町関係からは野田力三氏、小沢素良氏、渡辺忠作氏の三氏が勲四等、五等六等の瑞宝章をそれぞれ賜りました。



野田力三氏

野田力三氏（東京在住）明治三十八年二月二十四日生（七十歳）野田合板（株）取締役社長は、野田製材所を叔父より継ぎ、その後、昭和九年に合板製造業に転換、以来取締役社長として我が国の合板製造に尽くされました。また、このほか数々の会社の取締役として現在活躍されています。



小沢素良氏

小沢素良氏（南町）明治三十二年五月七日生（七十六歳）東光寺住職は、長野県野沢中学校を皮切りに中学校、高等学校の教諭、校長として約二十八年間、生徒の教育にまい進。その後、約十一年間



渡辺忠作氏

渡辺忠作氏（本通一）明治二十八年十一月二十一日生（八十歳）農業は、昭和三十年四月に町議会議員に当選。以来、連続四期十六年の長い間地方自治に尽くされました。この間、議会議長を二年二月月努めています。

野田氏ほか二氏が寄付

野田氏ほか二氏が寄付  
叙勲を記念して  
野田氏ほか二氏が寄付  
野田氏ほか二氏が寄付

## 二百万円を町に寄付しました。 百三十余万円の善意 歳末助け合いで集まる

歳末助け合い運動は、昨年の十二月一日から三十一日までの一カ月間行なわれ、その結果、百三十五万九千九百三十七円（十二月二十五日現在）のお金と、衣類二点の善意が皆さんから寄せられました。

募金運動に協力してくださった区長会や婦人会、仏教会等の人たち。また、募金してくださった皆さんに感謝いたします。

おもな募金協力者（会）は次のとおりです。  
町内三十区 五六二六〇〇円  
日軽開発（株） 七〇六五〇〇円  
役員職員一同 五九四二二〇円  
一小児童会 五八一六一〇円  
労働者協議会 五〇八三三〇円  
牛乳販売店（五店）五〇〇〇〇円  
仏教会 五〇〇〇〇円  
町内米店（六店）四〇〇〇〇円  
白寿会（宮町老ク）三〇〇〇〇円  
連合青年団 二五〇〇〇円  
鹿島建設（株） 二二二四五〇円  
一中生徒会 二一四二三〇円  
蒲原ライオンズ 二〇〇〇〇円  
民生委員協議会 一九〇〇〇円  
二中生徒会 一八一八五〇円  
議会議員一同 一八〇〇〇円  
東光寺おひさま運動 一七〇七五〇円

## 幼稚園・保育園の 新入園児を募集

町では、昭和五十一年度の各幼稚園、保育園の新入園児をただいま募集しています。

希望者は、入園願書を出していただくこととなりますので、一月十四日までに次のところで詳細をお尋ねください。

- 第一幼稚園——第一幼稚園か教育委員会
- 第二幼稚園——第二幼稚園本通保育園
- 岩淵保育園——各保育園か
- 松千代保育園——町福祉課
- 北松野保育園——町福祉課

### 青少年の非行

最近、十六歳の少年や高校生の非行が増えています。この年齢層の少年の生活や行動に、とくに関心の目を向け、家族ともども規則正しい生活を心がけましょう。

1月23日

### 精神薄弱者巡回相談

中部福祉事務所は、精神薄弱者巡回相談を一月二十三日の午前九時から午後一時まで、蒲原町文化センターで開きます。相談のあるかたは、役場福祉課で詳しいことをお尋ねください。

## あぶない！

### 電線付近のタコあげ

タコあげの季節になりましたが、電柱や電線の近くでタコをあげるのは非常に危険です。とくに最近では、金属やプラスチックを使ったものも出まわり電線にかかったりすると感電することがあります。

万一、タコが電柱や電線にかかったときは、電柱に登ったり棒でたいたたり、あるいは、ヒモを引張るなど自分で取ろうとしないで、最寄りの中部電力へお知らせください。

なお、ユークン遊びも同様に電線の近くでは危険です。子どもを事故から守るため、おとなの皆さんが危険な場所では遊ばせないよう注意してあげましょう。

中電富士川営業所（六一〇〇〇）

## 心配ごとは気軽に 総合相談所をご利用ください

・1月20日（火）9時30分～15時  
・老人福祉センター

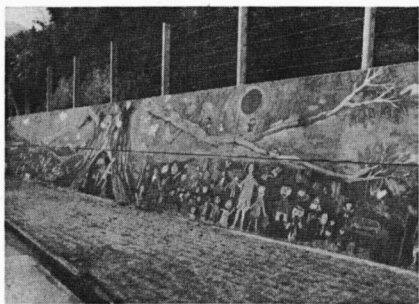
# 五十歳を迎えた一幼 一小体育館で祝賀会

大正十五年に富士川幼稚園として創立された、町立第一幼稚園（渡辺光枝園長）が昨年で五十年を数えました。昨年十一月二十三日には、父兄、園児ら関係者約四百人が第一小学校体育館に集まり園児の発表会などを催して同園五十周年を祝いました。

合わせて二百二十五人の園児と教員七人が好環境の中、過去の伝統を生かした真の教育がなされています。園名も、昭和三十三年の合併と同時に町立第一幼稚園と改名されています。

式典には、歴代の園長や教員、父兄、園児、町会議員ら約四百人が集まり、園長のあいさつや来賓祝辞。続いて、卒業生が当時の園児生活をなつかしそに語りました。

そして、長い間同園のために尽くされた渡辺光枝さん、中川辰江さん、篠根チヨさん、原田良之輔さんの四人に感謝状が贈られました。



渡辺清氏が一幼五十周年を記念して描いたペンキ画

この後、園児の絵画がいつぱいに掲示されている会場で、歌や遊戯、劇などを幼児が一生懸命に演技、盛んに拍手をあげていました。また、五十周年を記念して校舎のうらのたて二層、横二十層のコンクリート壁には、人間の顔を創造した大木を主体に、自然の中で

## 星の子 太田利三



このあと、園児が遊戯やリズム劇などを元気いっぱい披露し、会場から盛んな拍手を浴びていました。

# 戸籍の窓

50・10・20〜11・19 (敬称略)

## おめでた

区名	出生児	保護者	続柄
木島	宇佐美法香	哲示	長女
小山	芦川 敏広	豊	長男
室野	望月 幸恵	正範	二女
相生町	大久保友司	達夫	二男
上町	植松 夕子	勝己	長女
四十九	関 利則	政義	長男
幸町	清水 真樹	省吾	長女
東町一	鈴木 美貴	吉明	長女
遠藤	明雄	秀行	長男

## よろこび

東町二	田中 重美	和功	三女
南町	丸山美知留	政良	長女
清水町	佐野 昌弘	長生	三男
久保田敏規	幸雄	長男	
大北町	天野謙一郎	東介	長女
篠田	綾子	富雄	長女
区名	新 郎	新婦	旧姓
木島	芦川 学	こずゑ	山中
相生町	阿部 幸男	ユキ	佐藤
望月	良幸	ちず子	佐野
上町	小林 智	三保子	鈴木
坂下	斎藤 章	典子	吉田
花田	秀一	恵美	田島
望月	良一	節子	望月
旭町	望月 良一	節子	望月

## おしあわせに

東町二	尾崎 隆一	孝子	桑原
幸町	曾我 勇	かおる	立木
南町	渡辺 邦雄	三恵子	清
戸栗	一 悦子	志村	
八幡町	川口 健治	たか子	川口
清水町	高岡 善文	啓子	濱部
大北町	宇佐美 修	幸子	宇佐美
区名	氏 名	転出先	
木島	角替由美子	沼津市	

## かなしみ

区名	氏 名	年齢
相生町	斎藤 きぬ	八九
飯坂安太郎		七一
幸町	浦田 和夫	二六
南町	影島 一	五〇
佐野	長生	四〇
富士見町	小泉 なか	七五
八幡町	稲葉金太郎	九〇
清水町	望月 孝之	三二
大北町	二又川作太郎	八九
儘下町	久保田静子	五五
宇佐美	シュウ	七二

# 句集 破草鞋 を出版

### 東光寺住職 小沢素良氏

小沢素良さん(東光寺住職)は五十余年に亘る俳業を句集として出版しました。

「昔の禅者は破草鞋をきれいに洗って、刻んで壁の下地にしたり堆肥にしました。いま私は俳句に遊び五十年の長旅でポロポロになった破草鞋を拾いあげ、さらさらと泥土を洗い落してみる」と句集の題名について淡々と述べています。

同氏は大正七年、京都花園中学在学中に俳句に親しみ、その後旧中学、高校教諭を勤め、やがて松野村助役、富士川町社会教育課長など、教育一途に生きると共に、俳句の道に励げんでこられました。この間、東京の学習文庫から文庫本「俳句の教室」を出版、全国的にも小沢吼素人というペンネームで、俳人としての位置を築かれて

ていました。

句集はB六版百八十四ページで



小沢素良氏が発刊した俳句集「破草鞋」

## 堂々三位に入賞

### 一小区父親ソフト

第六回静岡県父親ソフトボール大会は、昨年の十一月二十三、二十四日の両日、静岡市駿府球場で決勝トーナメントが開かれました

当町から、第一小学校区チームが郡代表として、村山弘さん(相生町)を監督に十八人の選手が張切って出場、一、二回戦を順調に勝ち進み、準決勝で富士市立第二小学校区と対戦しました。当初三対一でリードしていましたが、五六回に反撃され惜しくも九対四で

## 納税に寄与した

### 志村真一氏らを表彰

昭和五十年度の納税表彰式が昨年十一月十四日、清水中央公民館で行なわれ、当町の志村真一氏(小池)が清水地方税務推進協議会長より表彰されました。

また、税務功労者として斎藤利雄氏(本通)、神戸鹿治氏(清水町)の両氏が税務署長の表彰をうけました。

なお、昨年の同月十五日には納税優良団体として、半在家納税貯蓄組合(戸次誠二代表者)が静岡財務事務所長より表彰されています